

市の鳥



カワラヒワ

広報えびな

編集・発行
海老名市役所秘書広報課
〒243-04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎ (0462) 31・2111

この広報は再生紙を使用しています。



心配するよりもまず検診

健康こそ一番の幸せ

2月1日から7日までは「成人病予防週間」です。成人病は、別名「習慣病」と言われ、日ごろの生活と深い関係があり、がん、脳卒中、心臓病などをいいます。成人病は、高齢化や生活環境の変化などの影響で、今後はさらに増加すると予想されています。みなさんも、検診や健康づくりなどを心がけて成人病を近づけないようにしましょう。

みなさんが、幸せと感じるときはどんなときでしょうか。おいしい物を食べたとき、お酒を飲むときなど、人それぞれにあると思いますが、それを感じることもできるのも健康だからこそではないでしょうか。

2月1日から7日まで「成人病予防週間」です。立ち止まって自分の体の声を傾けてみませんか。成人病の多くは自覚症状などを感じないものです。それだけに体のシグナルサインをキャッチしたいものです。それだけに市で実施している基本健康診査、成人病検診があります。年に一度は受けることを、ぜひお勧めします。

成人病の多くは生活習慣が大きく関与します。この機会に自分自身の健康について見直してみたいかがでしょうか。

成人病は早期発見が大切

上の写真は、近藤美智子さん（左から2人目）園分寺台 60歳。現在、東名厚木病院（厚木市船子）の総婦長で、約100人の看護婦さんたちの人事管理、確保、教育指導などを行っています。

近藤さんは、子育てのため約4年間の空白はあるものの、34年間の看護婦生活だけでなく、看護学校の教師の仕事もしてきました。「仕事と家庭の両立でここまで続けてこれたのは夫や家族、周囲の人々に支えられてきたおかげです。看護婦の仕事は大変だとおっしゃるんですけど、どの仕事でも大変なのは同じこと。大変だと思えば大変だし、自分の心がけひとつだと思えます」と話してくれました。

取材した日は、海老名高等看護学院の学生が研修をしていました（写真右から4人）。「最近の若い人たちは、やさしい気持ちはあるのですが体力がないですね。それと、自分の思っていることをはっきりと言わないので、本音を聞き出しにくいんです。もっと本音を出して自分に自信をもってほしいですね」と。

成人病予防についてたずねると、「成人病は早期発見が大切です。具合が悪くなつてからでは遅いんです。検診は、転ばぬ先の杖（つえ）なので、面倒くさがらずに検診を受けてください」と答えてくれました。近藤さんは、去年11月に発表された秋の叙勲で、勲七等宝冠章を受章しました。

第25回海老名市駅伝競走大会



第25回海老名市駅伝競走大会が1月7日(日)海老名運動公園をスタート・ゴールとして行われました。

結果は、海老名市役所チームが3年連続総合優勝を果たしました。各部門の3位までの成績は次のとおりです。

【自治会対抗の部】

- ①中新田 1時間6分43秒
- ②上今泉A 1時間8分41秒
- ③杉久保自治会A 1時間10分39秒
- ④一般対抗の部

【市役所の部】

- ①市役所 1時間4分44秒
- ②消防署 1時間5分33秒
- ③海老名高校陸上部A

周回コースから25年目

柏ヶ谷中学校1時間34分21秒が3年連続総合優勝を果たしました。この駅伝大会は、昭和46年の市制施行によって昭和47年1月の大会から恒例の町内1年1回の大会を改称し、今大会が市駅伝競走大会として第25回の記念大会でもありました。

位階防衛チームでした。その後、大会関係者の努力と地域に根ざしたスポーツとして、この大会を普及させる目的から、コースを河原口の有馬神社から市役所、昭和60年から柏ヶ谷小学校から市役所へと変更され、海老名市のスポーツの拠点である現在の海老名運動公園陸上競技場を中心に開催するようになったのは平成4年の第21回大会からです。

電話で海老名の昔話が聞けます

333-8888

みんかみんか しゃべり屋 電話通話専用ダイヤル

池田 武治



消防出初式で救出訓練

1月14日(日)、市役所西側行事場で「消防出初式」が行われた。従来の屋内の消火栓操作訓練のほか、「阪神・淡路大震災」の教訓をもとに倒壊した建物からの救出訓練も実施された。

2次災害の防止・応急危険度判定

地震によって被害を受けた建物は、大地震が起きたときには大きな余震を伴い、被害を受けた建物に入ると余震による被害を受けた事例も報告されています。建物の被害、損害状況を調査し、建物の使用可能かどうかを判定する人のことを「応急危険度判定士」と呼ぶ。

「家が家の耐震診断と耐震知識」の冊子を発行して、お家が自身で耐震診断してみたいかですか。冊子は、市都市計画課窓口にあります。

海老名むかしはなし

くら地名分布図

「蔵ノ下」だけで重みを感じる。河原口には、「御蔵除」の地名が有馬小学校の南の道角にある。海老名氏の館があったので、「御蔵除」という大字名の中にあるが混同され易い。

災害の記憶を新たに！ 阪神・淡路大震災から1年

未だ私たちの体に焼きついている「阪神・淡路大震災」から1年が経過しました。災害は忘れた頃に、言葉もありませんが市民の皆さんの災害に対する心構え、備えなどが大切です。

1/17防災とボランティアの日

1月17日を「防災とボランティアの日」とし、1月15日(日)と16日(月)を「防災とボランティア週間」とし、広く国民が災害時におけるボランティア活動及び自主的防災活動についての認識を深め、災害への備えの充実を図ることが今年12月の閣議で了承されました。

感謝 海老名市様

兵庫県知事からお礼の手紙

救助活動や市民の方のご協力を得てお送りした義援金や日常生活用品等の支援に対する兵庫県知事からの手紙

平成7年12月 兵原 俊氏

Hyoogo Phoenix Plan



自主防災組織による防災訓練(有馬小学校)

自石市と相互援助整う

「自主防災組織・自治会などが中心となって自主的に地域防災活動を行う組織」が中心となつて7年度は現在までに例年

震災写真展

大震災から1年、市民の皆さんに、あの大震災の記憶を新たに、もう一度見てください



撮影した職員の現地の説明を受ける本郷在住のお年寄り

橋梁点検

今回の大震災では、橋梁の倒壊が道路を寸断し、避難及び物資の配送に大きな影響を与えたことが指摘されています。

第36話 くら地名

「くら」と訓読みする漢字に「倉・蔵・庫」の文字がある。今は、この使い分けが乱れているようであるが西暦七〇一年大宝の律令ができたころには、租の正税である米穀物を取めておくところが「倉」、庸調の正税である米穀物を取めておくところが「蔵」、兵器や武器を取めておくところが「庫」とそのもつ意義を明らかに区別していた。

ロープを使ってジャングル遊びもできます(多目的運動場で)



大自然と遊びませんか

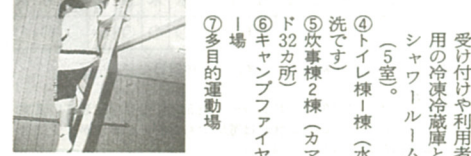


【カヌー遊び】精進湖でカヌーに挑戦してみませんか。現地指導員が指導します。一回に10人まで。事前に、現地指導員に申し込んでください。服装は、濡れてもよい服と靴で。料金は無料です。

炊事道具の貸し出しも行っていきます



【カヌー遊び】精進湖でカヌーに挑戦してみませんか。現地指導員が指導します。一回に10人まで。事前に、現地指導員に申し込んでください。服装は、濡れてもよい服と靴で。料金は無料です。



湖山



施設周辺では、登山やハイキング、カヌー、ボート遊び、釣りなどが楽しめます。また、遊園地や、観光牧場、スキー場(夏場はクラスキー)、各種博物館・美術館もあります。今年8月には、キャンプファイヤーや自然観察会などの各種イベントを企画しています。

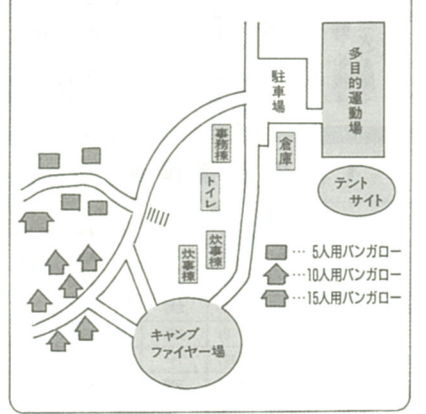
キャンプ初心者でも安心です

同施設では、全くキャンプが初めてという人も安心して利用できるように炊事道具などの貸し出しを行っています。



▶さて、どんな出し物があるのか...
◀みんなでゲーム楽しいね

施設配置図



バンガロー等使用料金表

区分	単位	使用料		
バンガロー利用の場合	市内に住所を有する者	5人用 1,500円 10人用 3,000円 15人用 4,500円		
	その他の者	5人用 2,250円 10人用 4,500円 15人用 6,750円		
	利用しない場合	市内に住所を有する者	500円 1,000円 1,500円	
		その他の者	5人用 750円 10人用 1,500円 15人用 2,250円	
		利用の場合	市内に住所を有する者	5人用 500円 6人用 600円 8人用 800円
			その他の者	5人用 750円 6人用 900円 8人用 1,200円

バンガローが11棟 施設の概要

- ①バンガロー11棟
・5人用4棟、6人用1棟、10人用6棟
- ②屋根付き
・下10畳、上9畳の洋室
- ③15人用1棟、平屋建てで30畳の洋室
- ※すべてのバンガローには、人数分のふとん、電源(コンセント)があります。

問い合わせ

●市生涯学習課 ☎31・2111(内686・687)
●富士ふれあいの森 ☎0555-87-2280(〒409-37 山梨県西八代郡上九一色村精進湖波550番127)

●自動車の場合
①海老名 厚木IC
②海老名 相模湖IC
●電車、バスの場合
①海老名 八王

太陽 楽しさいっぱい



富士ふれあいの森 5月から宿泊できます

みなさんは、シカの鳴き声や足跡、タヌキそして、数えきれない程の星を見たことがありますか。去年8月、山梨県にオープンした野外教育施設「富士ふれあいの森」は、今までに子供たちや家族連れなど1,813人が宿泊利用しました。今年も、4月から同施設の利用ができます。みなさんも5月の連休や夏休みに、ご家族や団体で訪れてはいかがでしょうか。きっと、大自然の中で新しい体験ができることでしょう。



自分たちで作った食事おいしいね

新しい体験の場

野外教育施設「富士ふれあいの森」は、富士山や精進湖をはじめとした富士五湖、青木ヶ原樹海などの日本を代表する素晴らしい自然環境の中にあります。「体験に勝る教育はなし」という理念のもと、豊かな自然とのふれあいや、さまざまな体験活動を行い、青少年が心身ともに健全に成長することを目的としています。

野外教育施設



図鑑を手に自然観察会に参加



楽しい話のひととき

申し込み方法は...

- ①市内の小学校・利用開始日の1年前から
- ②市民利用開始日の3ヵ月前

開設期間は...

- ①5月10日、日帰り並びに宿泊とも毎日利用できます
- ②4月と11月、日帰りのみの利用です

122組千83人が宿泊

平成7年度の宿泊利用者は、122組千83人(8月8日から10月31日まで)で、小学校やボーイスカウトなどの団体利用が8団体、92人でした。宿泊利用者のうち、ほぼ90%はバンガローの利用でした。今後、より多く市民の方に利用していただくため、管理・集合棟などの増設を行う予定です。

すがわら ひろき
菅原 大樹くん
1歳2カ月



こんにちは、ひろきです。お外で遊ぶのが大好き。でも今は寒いから少ししか遊べないんだ。早く暖かくなって欲しいな…。(門沢橋、菅原久夫・由美子さんの長男)

こむかいま ゆか
小向 真由佳ちゃん
1歳2カ月



好奇心いっぱいのわたし、いたずら大好き。ママやパパを困らせています。おてんばだけみんなお友達になってネ！(杉久保、小向敦弥・ひろみさんの長女)

まんまるおぼやん

たなか ひとみ
田中 瞳ちゃん
1歳2カ月



お姉ちゃんと一緒だいつもご機嫌なわたしです。歌が大好きで、セーラムーンのと踊りはパッチリです。(社家、田中明・祐美子さんの二女)

あいほら なおゆき
相原 直幸くん
1歳



絵本を見たり、おもちゃの車で遊んでいれば上機嫌な僕。でも、早くあんよが上手になっていろんな所へ行きたいな…。(門沢橋、相原正生・幸子さんの長男)



健康願って…どんど焼き

フォトピックス

1月12日、門沢橋・本郷・中野のお年寄り14人が門沢橋保育園を訪れ「どんど焼き」を行った。これは市老人クラブ連合会が世代を超えて交流の輪を広げようとして行っているもの。当日は、お年寄りが園児の手を取りながら、木に刺しただんごを焼き、その後ゲームなどで楽しんだ。



りんご子供大使が訪問

1月11日、青森県弘前市から「アップルフェア」事業の一環として、「りんご子供大使」が訪れた。りんご子供大使の西谷福祥君(小学校4年)は市内の101歳のお年寄り、語里伊三郎さん(中新田、写真上)と川口みよさん(国分南)にりんごの顔入りの「長寿りんご」を直接プレゼントした。



▼旅立ちの門出



20歳の門出を祝う。1月15日、市文化会館で成人式が行われた。成人を迎えた人は2千3人。会場は、晴れ着姿の女性が目立ち、久しぶりに会った同級生との歓談に沸いていた。



麻雀大会で親睦深める
市老人クラブ連合会主催の麻雀大会が、1月17日、綾戸福祉会館で行われ、22人が参加した。大会は和やかな中にも真剣さがわかれ、「ポン」「ロン」の音が飛び交っていた。

今月のプロフィール

かながわ駅伝に市代表として走る
吉田 慎一さん

「自分が大学の代表だということを誇りに思いながら走っています」と話すのは、正月に行われた、第72回東京箱根間往復大学駅伝で、駒沢大学の選手として8区(平塚-戸塚間) 21・3キロを力走した吉田慎一さん(20歳)。
吉田さんはマラソンを始めたのは藤沢商業高校に入ってから。最初は部内でも遅いほうだったが、2年生から急にタイムが速くなり、県の高校駅伝大会の総合優勝に貢献した。大学進学後も1年生から箱根駅伝に出場している。駅伝は、個人競技ではなくチームみんなで力を合わせて勝ち取るものです。チームが良い成績のときには、みんなで喜び合えるので嬉しさが倍増します」と駅伝の魅力を話す吉田さん。
大学の部員は約50人。その中で箱根駅伝で走れるのは10人と競争も激しい。練習練習の毎日、25キロのトレーニングは欠かさない。今年駒沢大学は、総合9位で2に入れたため、来年のシード権を得ることができな

箱根のタスキにける青春



かった。箱根駅伝に出るためには、今年10月末に行われる予選会で6位以内の成績が必要となる。
「部の最大目標は箱根駅伝なので、来年も絶対に出場して優勝を目指します。自分も卒業するまでの2年間、箱根駅伝で走れるように頑張ります。チームに貢献できる走りを目指しています。吉田さん、来年も元気いっぱい走る姿を見ることができたらいいな。」(吉田さんは、2月11日に行われる市町村対抗「かながわ駅伝競走大会」で海老名市の代表として、7区白根公民館前(伊勢原市)から合同庁舎前(厚木市)までの10・3キロを走る予定です。)

▽広報の1月号の1面は、年間を通してあるテーマに添って編集しています。今号からは新しいテーマを設定し取材を行っていく予定です。

編集後記

ですので、それを見つけてください。▽字数、字数を追っては4カ月「冷や汗をかいても文はつながらず」の毎日です。(係の長)